

第2回定例会一般質問 2015年6月19日

19, 2015 13:17

(平成27年6月19日 嶋中貴志議員 質疑)

議長のお許しを得ましたので、一般質問をいたします。

始めに、予算等審査特別委員会でも質問した、復興計画5か年の最後の年の取り組みのもととなる「被災者生活再建加速プログラム」についてであります。前回の質問でも強調した伴奏型、いわゆる通常市民の方が役所等に出向いて手続き等をとりますが、真逆の役所が出向いていく、つまり被災者の方を訪問し、今後の生活再建を相談することです。大変に素晴らしく敬意を表し、ご努力を期待いたしました。さて、取り組みが始まってまだ2か月ちょっとであります。現在の取り組み状況について伺います。私も全面的に協力し、情報提供を行っていきたいと思います。

そこで、先般、みなし仮設にお住まいの方を訪問する機会がありました。ご婦人の一人住まいで、玄関先ではありましたが、私が、「今後の生活再建の方針はお決まりですか」と尋ねたところ、「いえ、まだ決まっておりません」とのことでした。「市のほうからは、さまざま情報が、お便りとして出しているんですが、届いていませんか」、と尋ねると、市のほうからは、届いています」、とのこと。「それでは、いろいろ相談に乗ってくれますから、今後がんばってください」と、言い終わる前に、「封は、あけてません」、と、おっしゃるのです。理由を聞いてみると、日々の生活に追われ、考える気力がわからず、そのままにしているとのことでした。愕然としましたが、このような方もいらっしゃるんだということです。確かに4年3か月経ち、仮設にいるということは通常では考えられない状況があるということです。このようなことを踏まえ、今後取り組んでいっていただきたいと思います。現状の取り組みについて伺います。